

市民の皆様から頂いた意見、提案等についての回答（個別検討会議 教育分野）

- ※ 皆様から頂きました、意見等に対する今後の対応について、回答しています。
- ※ 計画の位置づけ項目の、「総合戦略(27年度中策定)・「第6次総合計画(28年度中策定予定)」の欄に○印があるものについては、反映する予定です。
- ※ 計画の位置づけ項目の、「公助・共助・自助」については、施策、事業を実行する場合に、誰が主体的に取り組むか示したものです。
- ※ 皆様から頂いた、ご意見について、緊急性、効率性、有効性等の観点で整理しました。ご意見等を否定するものではございませんので、ご理解よろしくお

意見集約の場	意見（取組内容や方法）	市の考え				
		回 答	計画への位置づけ			
			施策・事業化	総合戦略	第6次総合計画	主管課
個別検討会議 教育分野	市独自の学力定着補助教材購入事業の継続や就学援助の充実を図りながら、市内外へ情報発信を行う。	学力定着補助教材購入事業は、学校や保護者からの要望が強くあり、市独自の子育て支援として有効です。また、就学援助は教育の機会均等の観点からも継続していきます。また、ネット等を活用し、広く情報発信を行います。	<公助> 取り組んでいる	○	—	教育総務課
個別検討会議 教育分野	林業・木材に関する専門的な学習の出来る大学の誘致。	市単独としての事業が難しいので、国・県と十分な連携のもと、人材育成を図っていきます。	<公助> 検討する	—	○	林業振興課 企画課
個別検討会議 教育分野	豊かな自然を活かした体験活動を充実し、都市部へアピールする。	市民の体験活動のメニュー等を一緒に考えていきます。	<共助> 検討する	○	—	地域振興課
個別検討会議 教育分野	ふるさとを愛する心の育成をはじめ、先哲学習や地域の特色を活かした活動や、豊かな自然や環境に触れ合う機会を設ける。	現在、社会科や理科、総合的な学習の中で実施しています。広瀬淡窓等の日田の先人、地域の文化財や年中行事、日田の自然環境を素材にした学習などを継続していきます。	<公助> 取り組んでいる	○	—	学校教育課
個別検討会議 教育分野	不登校等の問題を抱える児童生徒や保護者、教職員に対し「臨床心理士」によるカウンセリングや、学校へ「心の相談員」の派遣を行い、支援活動を行う。	不登校やいじめは、学校生活の中でどの子にも起こりうる問題であり、問題を抱える児童生徒や保護者、教職員に対し、様々なサポートが必要不可欠であることから、事業を継続します。	<公助> 取り組んでいる	○	—	学校教育課
個別検討会議 教育分野	複式となる学校に、市費雇用の教員を配置する。	「小中学校教育環境整備検討委員会」の答申に基づき学校統廃合を行い、地域との確認事項の一つとして市費雇用教員による複式学級の解消を実施しており、継続して取り組めます。	<公助> 取り組んでいる	○	—	学校教育課
個別検討会議 教育分野	廣瀬淡窓をドラマ化し、広く咸宜園教について周知する。また、市独自の教育施策（学力定着補助教材購入事業など）市内外に向け情報発信を行なう。	大分県ロケツーリズム推進協議会の中で、日田市からの情報を積極的に提供していきます。	<共助> 検討する	—	○	観光課
個別検討会議 教育分野	廣瀬淡窓をドラマ化し、広く咸宜園教について周知する。また、市独自の教育施策（学力定着補助教材購入事業など）市内外に向け情報発信を行なう。	TV番組などのメディア誘致の可能性を検討します。	<公助> 検討する	—	○	世界遺産推進室

意見集約の場	意見（取組内容や方法）	回 答	市の考え			
			計画への位置づけ			
			施策・事業化	総合戦略	第6次総合計画	主管課
個別検討会議 教育分野	廣瀬淡窓をドラマ化し、広く咸宜園教育について周知する。	大分県ロケツーリズム推進協議会の中で、日田市からの情報を積極的に提供していきます。	<共助> 検討する	—	○	観光課
個別検討会議 教育分野	廣瀬淡窓をドラマ化し、広く咸宜園教育について周知する。	TV番組などのメディア誘致の可能性を検討します。	<公助> 検討する	—	○	世界遺産推進室
個別検討会議 教育分野	日田林工高等学校において、企業や職人を講師にした林業・木材に関する専門的な学習の出来る体制を構築する。	学校のインターンシップ等の要請に応じて、協力していきます。	<公助> 取り組んでいる	—	—	林業振興課
個別検討会議 教育分野	夏休み1週間短縮の状況を検証しながら、土曜日授業についても検討を行う。	平成26年度から学校教育活動のより充実した取組に向けて、夏休み1週間短縮がスタートしたばかりである。各学校では、創意工夫して取り組み始めたばかりであるため、その検証を最優先にし、取組の定着を図ります。	<公助> 実施しない	—	○	学校教育課
個別検討会議 教育分野	土曜日や放課後、夏休みなどの長期休暇に、学校の教育活動以外に「英語セミナー」や「放課後チャレンジ教室」「土曜教室」「日本遺産子どもガイドの育成」を実施する。	咸宜園の理念に基づき、子どもの学力向上や健やかな子どもの育成を図る為、土曜日や放課後、夏休みなどの長期休暇に、学校の教育活動以外の場面に広く学びの場を提供する必要があることから事業化し、“子ども咸宜園塾として”推進します。	<公助> 新規事業	○	—	社会教育課
個別検討会議 教育分野	地域や学校において、木育教室などを実施し、効果的な木育を実施する。	市民アンケートなどを実施し、保育園や幼稚園、小中学校など年齢に応じた木育プログラムを整理するとともに、木に触れ合う場の提供も検討します。	<共助> 新規事業	○	—	林業振興課
個別検討会議 教育分野	地域や学校において、木育教室などを実施し、効果的な木育を実施する。	「総合的な学習の時間」で、学校や地域の実情や特色に応じて、郷土愛を育む活動も行っており、継続して取り組んでいきます。	<公助> 取り組んでいる	○	—	学校教育課
個別検討会議 教育分野	第3子にかかる給食費を無料化し、社会全体で支える環境の整備を図る。	第3子の給食費の無料化を試算した場合、該当する小中学生対象者は832名で年間給食費負担額が約4千万と多額の事業費となることから事業化は難しいと考えます。なお、経済的に苦しい場合、給食費は就学援助の助成制度を利用いただいています。	<公助> 実施しない	—	—	学校給食課
個別検討会議 教育分野	総合型地域スポーツクラブを充実し、子どもが部活動以外で、希望するスポーツができる環境づくりを行う。	中学校部活動で行なうスポーツ活動と総合型地域スポーツクラブでの活動では、中体連の大会での位置づけなどで相反しており、クラブの新設にあたっては指導者や練習会場の確保等に課題があるため難しいと考えます。	<公助> 実施しない	—	—	学校教育課
個別検討会議 教育分野	増加する対象児童・生徒に対し特別支援サポート補助職員を増員し、教育的ニーズに応じた指導を行う。	特別な支援を必要とする児童生徒が増加している事から、特別支援サポート職員を増員し、事業を継続します。	<公助> 取り組んでいる	○	—	学校教育課

意見集約の場	意見（取組内容や方法）	市の考え				
		回 答	計画への位置づけ			
			施策・事業化	総合戦略	第6次総合計画	主管課
個別検討会議 教育分野	数学・英語の学力定着を図る為に、県費による加配教員とは別に、市独自の学力向上支援サポート職員を配置し、授業や個別指導を行う。	中学校において、数学と英語の「基礎的基本的な学力の定着」に課題がある事から、学力向上支援教員（県費）等による習熟度別や少人数授業に取り組んでいます。また、市独自に数学と英語の教科部会が作成する「確認テスト」を全中学校で実施し、学力定着を図っています。その結果、27年度の県学力調査では、両教科共に県平均を上回るなど成果が見られていることから、今後も、さらにこれらの取組を進めていきます。このため、市独自の学力向上支援サポート職員は配置いたしません。	<公助> 実施しない	—	—	教育総務課
個別検討会議 教育分野	小学校「漢字検定」や中学校「英語検定」の受検によるチャレンジ精神の向上や、市独自の学力調査を拡充し、学力定着と向上を図る。	子どもの「学ぶ意欲の向上」や「学力の定着」が必要である事から事業を行なう。目標を持ってチャレンジする「漢字検定」「英語検定」を継続し、市独自の学力調査を小学校低学年まで拡充し取り組みます。	<公助> 取り組んでいる	○	—	学校教育課
個別検討会議 教育分野	地元の食材や郷土料理を給食メニューに取り入れ、郷土愛を育む。	栄養士が学校給食実施基準に沿って、地元食材を使用した栄養バランスの取れた給食を実施しています。栄養士、調理員が給食調理研修会で新規メニューの考案や地元食材活用に取り組んでいます。	<公助> 取り組んでいる	○	—	学校給食課
個別検討会議 教育分野	市で整備した光ケーブル網やコワーキング・スペースを推進し、優れた通信環境を都市部へ積極的にアピールする。	U・Iターンの情報として、既に情報通信環境の発信に取り組んでいます。	<公助> 取り組んでいる	○	—	地域振興課
個別検討会議 教育分野	市奨学金貸与者が卒業後、一定期間、日田市内に就職した者への奨学金の返済を免除。	奨学金の返還免除制度については、免除者と返済者に不公平が生じことや市の財政負担が大きくなり持続的な運用が見込めなくなることから実施は難しいと考えます。	<公助> 実施しない	—	—	教育総務課
個別検討会議 教育分野	近隣の中学校と連携した合同部活動を実施し、小規模校の部活の充実を図る。	小規模中学校の部活動のあり方については喫緊の課題であり、地域や学校、中体連などの関係機関と協議を行います。また、合同部活動に係る経費の一部を助成し、小規模校の部活の充実を図ります。	<公助> 検討する	—	○	学校教育課
個別検討会議 教育分野	学校間や地区公民館における子どもの交流する場を創出する。	現在、市内の小中学校では、鼓笛パレードや音楽会などの文化的な活動を通して交流を図っており、継続して実施します。また、これ以上行事等を増やすことは、子供達の負担や、各学校の活動時間、授業時間の圧迫につながるため、難しいと考えています。	<公助> 実施しない	—	—	学校教育課
個別検討会議 教育分野	海外姉妹校の締結など国際交流の推進を図る。	第6次総合計画策定時に検討します。	<公助> 検討する	—	○	企画課

意見集約の場	意見（取組内容や方法）	市の考え				
		回 答	計画への位置づけ			
			施策・事業化	総合戦略	第6次総合計画	主管課
個別検討会議 教育分野	新たな雇用の場の促進や企業誘致を行う。	日田市企業立地促進条例の立地企業指定用件の緩和や優遇策の改善を行い、企業にとって少しでも進出しやすい条件整備を行います。	<公助> 取り組んでいる (既存事業見直し)	○	—	企業立地推進室
個別検討会議 教育分野	ICT機器を充実させ、効率的な授業の展開や子どもと向き合う時間を確保する。	子どもの学力の定着と向上や教職員の負担軽減が喫緊の課題であることから、ICT機器を積極的に活用し、子どもの学力や生きる力の育成を図ります。	<公助> 取り組んでいる (既存事業見直し)	○	—	教育総務課
個別検討会議 教育分野	「文教都市」としてのシンボルとして、県立博物館や県の施設を日田へ誘致する。	現在、日田市では、市ならではの特色のある資料の保管と展示を行うため、複合文化施設の中で新博物館を整備しています。 このため、県の施設を誘致することについては、動向を注視していきます。	<公助> 検討する	—	—	博物館 文化財保護課